

努力賞
(子どもの部)

「かえるとわたし」

荒川区立第九峡田小学校一年

今野 真歩

やなぎだせんせい、こんにちは。せんせいは、「せかいのはて」はどんなところだとおもいますか。わたしは、「この「せかいのはて」というだいまいにひかれて、このほんをよみはじめました。

このおはなしにでてくるかえるは、ゆうきがあり、かっこいいとおもいます。なぜなら、じぶんがわからないことを、うしやからすにきき、じぶんの知らないせかいにとびこんでいったからです。きっと、じぶんの知らない「せかいのはて」をみてみ

たいというきもちがつよかったのだとおもいます。わたしは、このかえるほどゆうきがありません。しょうがっこうにゆうがくし、じぶんからあいさつをしたいとおもいますが、はずかしくて、じぶんからこえをかけられません。わたしは、このかえるのように、たくましくなりたいです。

ゆうきのあるかえるは、じぶんのいたちいさなせかいをとびだし、さいごに「せかいのはて」をみつめました。でも、その「せかいのはて」は、わたしがそうぞうしていたさびしいところではありませんでした。そこには、かえるのなかまがたくさんいたのです。かえるは、おどろいたし、よろこんだとおもいます。かえるは、ゆうきをだして、がんばったから、あたまもよくなり、ほかのかえるたちとなかまになれたのだとおもいます。さいごのペー

ジのかえるは、ほんとうにたのしそつでした。

このおはなしをよみ、わたしも「せかいのはて」にいつてみたくなりました。せかいじゅうをたびして、いろいろなひととしりあい、ひろいせかいをみてみたいです。かえるのように、きつとたのしいなかまにであえるようなきがします。

そのために、わたしは、にがてなあいさつをがんばることからはじめようとおもいます。あしたから、ゆうきをだして、あかるいえがおで、おおきなこえであいさつをします。